



益早野長夫
四糸南例大 美君而
益狂言之 采甫附

安室屋
七曲

唐倭の物語
国の淫樂をそふ集り同中丸の船流へ人ら向出な
嫁入の白小袖法他の中へ希代の衣紋抜へ輝天委其節向
又他は身自任

虎とて
石かゝる巻の

飲討の国書
情有るの湯を 泌る津中流の連中いむし 摩界
子存み海の仕業地く 娘小舟思れ 捨法天海杯み けい
掛きたる大観武流 若余 籠正志と 柳

- 第壹 有馬湯丸の段
- 第ニ 津國敷ヶ滝の段
- 第三 正清鑓の段
- 第四 梅乃馬場の段
- 第五 北野天神社の段
- 第六 墨漆手習子屋の段
- 第七 井手乃玉川の段
- 第八 挑山御殿の段
- 第九 三糸白川橋の段